

南京航空航天大学

2013 年硕士研究生入学考试初试试题 (A 卷)

科目代码: 845

满分: 150 分

科目名称: 翻译与写作 (日语)

注意: 认真阅读答题纸上的注意事项; 所有答案必须写在答题纸上, 写在本试题纸或草稿纸上均无效; 本试题纸须随答题纸一起装入试题袋中交回!

一. 次の日本語の文章を中国語に訳しなさい。(100 分)

1. ねぐら求めるムクドリ 鳴き声や超音波で追い払い作戦も(40 分)

夜になると奈良市の近鉄新大宮駅のあたりに鳥がいっぱい集まっています。それは、ムクドリが、ねぐらにしているのです。

日没ごろ、佐保川の桜並木に集まり、それからビルの屋上など高い所に移ります。ムクドリの偵察隊が調べて異常がなければ、一斉に電線や街路樹に降りてきて、そのまま朝まで過ごしています。

野鳥の会奈良県支部によると、駅前など夜も人通りが多くて明るいところはムクドリにとっても安全なのだそうです。天敵のオオタカが、奈良市から大和郡山市にかけて増えているようですし、安心できるねぐらが少なくなっているのでしょう。春の繁殖期には、神社仏閣などの建物の隙間(すきま)や大木のうろなどに巣を作り、家族単位で子育てをしています。7月ごろから10月ごろまで数百から数千羽の大集団になります。

ねぐらの周辺では、「フンで汚された」「店の自動ドアが開くたび羽根が入る」などと苦情があり、奈良市は2004年から対策をしています。ムクドリが仲間に危険を知らせる時の鳴き声の録音を、大音量で聴かせて驚かしますが、住民から「うるさい」と苦情があった場所ではやめています。10年か

らムクドリが嫌がる超音波を発生させる装置の試験を始め、大宮通り周辺では昨年から、夕方使っているそうです。

注釈

むくどり【椋鳥】

2. 起こらなかった未来、高度成長期の「奇抜」な日本の家電たち(60分)

日本の技術はウォークマンや小型電卓、便座ヒーター付きトイレなどをわれわれに与えてくれた。その一方で、日本が技術で成功するまでの道のりには、テレビ型ラジオや、歩くトースターといった「失敗」があふれかえっている。

後に発明の代名詞として世界に名をとどろかせた日本の技術だが、これらの失敗作を含むレトロ家電の宝の山には、1950年代末から60年代初頭にかけてこの国にあった「実際には起こらなかった未来」が垣間見える。

「クールジャパン以前のジャパンは、こういう、もっちゃりしたジャパンだった」と語るのは、レトロ家電の収集家、増田健一さん(49)。足立区郷土博物館で2000点に上る増田さんのコレクションの展示が行われた。

増田さんのコレクションを眺めていると、「三種の神器」 テレビ、冷蔵庫、洗濯機 がステータスシンボルとして存在していた時代にタイムスリップしたような感覚を覚える。

当時、本物のテレビを買えなかった人のために「次善の品」が用意されていた。日本初の国産テレビは1950年代半ばの高卒者の年収3年分と高額だったためだ。

「シャープ・シネマスーパー」はテレビの形をしたラジオ。この製品はエリ

ート公務員の平均月給の1か月分を少し上回る、1万900円と値が張った。
「テレビをみてる気分っていったって、画面が変わるわけでないし、そんな
ん一瞬ですわ。きっと買ってきたおとうさんは、おかあちゃんに怒られたと
思います」(増田さん)

パナソニック(Panasonic)のテレビ型ガスストーブ「GFS-1」は、同社が
30年間に販売したガスヒーターの中で最も高価なものだった。

「何の意味があるかと言えば、何の意味もない。ただテレビがいかにも憧れだ
ったかがわかります」と、増田さんはストーブの前でAFPの取材に語った。

この試行錯誤の時代を経て、日本の家電は20世紀末に世界を席卷する時
代を迎えた。その典型がソニー(Sony)のウォークマンだったといえよう。

注釈

1. レトロ

[名・形動]レトロ(Retro)とは retrospective(回顧)の略語。懐古的
であること。古いものを好むこと。また、そのさま。懐古趣味(かいこしゅ
み)のこと。

2. もっちゃり: 関西弁。稚拙の意味。

二. 「自分の中の未来生活」を題に800文字以上の文を作りなさい。(50分)